

一般質問

質問 岩手・宮城内陸地震において全国各地からいただいた多くの義援金を活用し、導入することとした奥州FMが発信する災害情報



ふじ た よしのり
藤田 慶則

○緊急告知ラジオについて
○口蹄疫対策について



※赤ちゃんの駅…スパーマーケット、デパートや病院等、来訪者を特に限定しない民間施設等で、誰でも自由におむつ替えや授乳が行えるスペースの愛称。

市長 認知度の高い、利用しやすい体制づくりを検討します。

質問 赤ちゃんの駅の設置について伺います。

質問 宮崎県での口蹄疫の発生は、地域経済も大きな打撃を受けました。人やモノの出入りが盛んな現

市長 義援金の中から738万円を活用し、平成21年度末に650台を導入、6月14日の情報発信・受信訓練での受信率は69・9%でした。また、誤作動が確認されたことから、ソフトウェア等の改良を行うために、全台を回収、今後は改良したラジオを9月末に再配布、10月以降に月1回試験放送を行い、防災情報の提供方法をさらに検討、緊急告知ラジオ放送の不感地帯の解消を進めてまいります。



義援金を活用し導入した「緊急告知ラジオ」

を受信できる緊急告知ラジオについて伺います。

市長 奥州市においても、その実

質問 育児放棄や虐待等連日の報道に心を痛めております。大人の責任において絶対に起こしてはいけないことです。「子どもの育つ環境は健全なのか」奥州市の実態と対応・予防について伺います。



せき かん
関 笙子

○子どもの健全育成について
○空き校舎等を介護事業等に活用することについて

市長 感染防止のため、市内全畜産農家へ消石灰の無料配布、また、口蹄疫相談窓口の設置とともに、消毒用動力噴霧器3台を購入、殺処分後に必要な埋却地の確保等大きな課題ですが、農場ごとの埋却候補地の有無等の調査を実施し、さらに公有地の埋却候補地の選定も行っております。今後は日常的な消毒を徹底、周知をはかり、県の指導のもと、関係機関・団体と情報を密にし、防疫体制に万全を期すよう努めます。

在においては、対岸の火事ではありません。奥州市においての対策を伺います。

市長 指導員の育成と併せ、合併効果として考えていきたいと思

質問 親が育っていない、子どもの居場所がない等との指摘もありますが、水沢区では、ホワイトキャンパス等出入り自由の語りの場があり、実績を挙げているとも聞きます。他地区への広がりを考えているか伺います。

市長 指導員の育成と併せ、合併効果として考えていきたいと思

質問 高齢化の進行に伴い、介護保険制度が機能していないという意見が出始めています。基金も枯渇している現状で、高齢化対策をどう考えているか伺います。

市長 第4期計画で急を要する163名の施設整備を行っておりますが、750名の待機者には迫りつつ

質問 地域の皆さまとの協議が一番ですが、前沢では学校統合により平成26年より空き校舎が出ます。また、他地区でもJAの空き店舗や空き公舎があります。介護保険事業への活用は初期投資が押さえられ、入所者の負担軽減に繋がると思うので提言させていただき

態は確認されており増加傾向にあります。課題を抱えながら、市の担当者や児童相談員等で対処しているところ